

平成30年11月11日(日) 13:00~16:30 (開場 12:30)

大阪府立大学 I-site なんば

海の研究最前線

—研究者と語ろう—

本フォーラムでは、3名の講演者に海をテーマにした最先端の研究内容についてわかりやすくご紹介いただきます。総合討論では、講演者をパネリストに研究の魅力について意見交換を行います。理系進学に関する中高生の質問も歓迎します。

13:00-13:20

海のことをもっと

海洋教育推進委員会委員長

小林 正典 さん

KOBAYASHI Masanori

みんなで知ろう

海の誕生から人間のかかわりまで



カタクテイワシの群れ

13:20-14:05

大阪湾の環境と生態

大阪府立大学教授

大塚 耕司 さん

OTSUKA Koji

大阪湾の環境のいろはから地球温暖化による水産生物の生態の変化まで



14:05-14:50

海洋ロボットで

(国研)海洋研究開発機構(JAMSTEC)

吉田 弘 さん

YOSHIDA Hiroshi

地球を調べる

いく, しらべる, そして...
このさきは何をすべきか?



15:00-15:45

海底に潜む

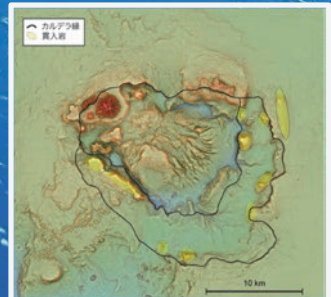
神戸大学教授

巽 好幸 さん

TATSUMI Yoshiyuki

巨大カルデラを探る

超巨大噴火は予測できるか?



15:50-16:20

総合討論: 「なぜ、私は研究者になったのか」

共催: 公益社団法人 日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会
大阪府立大学大学院工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 海洋システム工学分野
大阪大学大学院工学研究科

後援: 神戸大学大学院海事科学研究科
大阪府教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、和歌山県教育委員会、
奈良県教育委員会



第46回海洋教育フォーラム in 大阪

海の研究最前線

日時：平成30年11月11日（日）13:00-16:30

Web 申込

<http://ur0.link/L0ox>

または下記2次元バーコードから

(携帯電話のご利用マナーにご協力下さい)



FAX 参加申込：06-6879-7594

送付先：日本船舶海洋工学会 関西支部事務局宛

| | |
|-------------------------|--|
| 申込日：平成30年 月 日 | |
| ① 参加代表者氏名 | |
| ② 参加人数（代表者含む） | |
| ③ 参加代表者のメールアドレス | |
| ④ 参加代表者の電話番号 (携帯番号可) | |

- ・ご記入いただいた情報は、海洋教育フォーラムのイベントのみに使用させていただきます。
- ・FAX 申込に対する返信は行いません。なにとぞご了承ください。



参加費：無料

当日席に余裕があれば申込なしでも参加できますが、確実に着席・講演資料を希望される場合は、事前申込をお願いします。
お申し込みは、上記 Web または FAX 申込書を利用してください。

開催会場は大阪府立大学 I-site なんばです。

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東 2-1-41 南海なんば第1ビル2階
(<https://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/>)

OsakaMetro 御堂筋線・四つ橋線「**大国町駅**」下車、1号出口より東へ徒歩約7分

OsakaMetro 堺筋線「**恵美須町駅**」下車、1-B号出口より西へ徒歩約7分

講演プログラム

13:00~13:20 **開会 海のことをもっとみんなで知ろう 一海の誕生から人間のかかわりまで一**

小林 正典 (日本船舶海洋工学会 海洋教育推進委員会委員長)

13:20~14:05 **大阪湾の環境と生態 一大阪湾の環境のいろはから地球温暖化による水産物の生態の変化まで一**

講演者：大塚耕司 (大阪府立大学教授)

大阪湾の地形や水質の基本的な特徴について、東京湾と比較しながらわかりやすく解説する。また、大阪湾の漁業形態と水揚げされる水産物について紹介するとともに、近年問題となっている地球温暖化による水温上昇と、それに伴う水産物の生態の変化について最新の研究成果を発表する。

14:05~14:50 **海洋ロボットで地球を調べる 一いく、しらべる、そして…、このさきは何をすべきか？一**

講演者：吉田弘 ((国研) 海洋研究開発機構 (JAMSTEC) 海洋工学センター・海洋基幹技術研究部 部長)

地球環境問題は温暖化をはじめ、マイクロプラスチックや生物多様性など多くの解決すべきテーマがあり、これらは海洋に密接に関わっている。一方で、海洋立国と称するわが国は、あらたな海洋産業の創出が喫緊の課題である。技術研究者は、これまでどおり経済活性化のためにモノづくりを進めるのか、それとも環境問題の対応へ舵を切るべきなのか。講演では、海洋産業の現状と地球環境問題を中心に問題提起し、講演者目線で、ロボットを活用した未来社会への貢献方法を紹介する。

15:00~15:45 **海底に潜む巨大カルデラを探る 一 超巨大噴火は予測できるか？一**

講演者：巽好幸 (神戸大学教授)

世界一の火山大国・日本では、膨大な量のマグマを一気に噴出する「巨大カルデラ噴火」がしばしば起きてきた。神戸大学では、ひとたび起きれば日本を壊滅させるこの噴火の予測を目指して、7300年前に活動した「鬼界海底カルデラ」の探査を開始した。海底の構造や岩石は、このカルデラが次の超巨大噴火の準備段階に入ったことを示している。

15:50~16:20 **総合討論 「なぜ、私は研究者になったのか」**

進行：石黒慎二 (三菱造船㈱・実行委員)

講師と参加者で研究の面白さについて意見を交わします。

16:20 **閉会**

箕浦宗彦 (海洋教育フォーラム in 大阪 実行委員長)



第46回海洋教育フォーラム in 大阪 事務局代表 箕浦宗彦

大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1

お問い合わせ： https://www.jasnaoe.or.jp/jsn-event/20181111_mecc_osaka/

WEB 申込画面のご意見欄に「問い合わせのみ」と付記して下さい。この場合、「申込み」のチェックは事務局にて無効とします。参加申込みされる場合はあらためてお申し込み下さい。